

## 【作り方説明書】

## 8本ボックスプリーツスカートの型紙

<b>■詳細対応サイズ</b> ・40cm ソフビ ・50cm ソフビ ・58cm ソフビ M,L,LL (スマド未確認)	<b>■難易度</b> イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ
<b>■サンプル使用生地 of 厚み</b> 0.24mm	<b>■用意するもの</b> ・やや薄手～普通の生地 ・コンシールファスナー ・スプリングホック
<b>■手縫い可否</b> OK	<b>■布に書き出すパーツリスト</b> ①ウエストベルト 1枚→そのまま 1枚 ②スカート 1枚→ //
<b>■必要な布量参考数値</b> 合計：2枚 のパーツで構成	

【8本ボックスプリーツスカートの型紙  
40cm,50cm】  
横90cm,110cm,140cm

縦44cm

スカート

ウエストベルト

# 【8本ボックスプリーツスカートの型紙 58cm】

横90cm, 110cm, 140cm

縦49cm

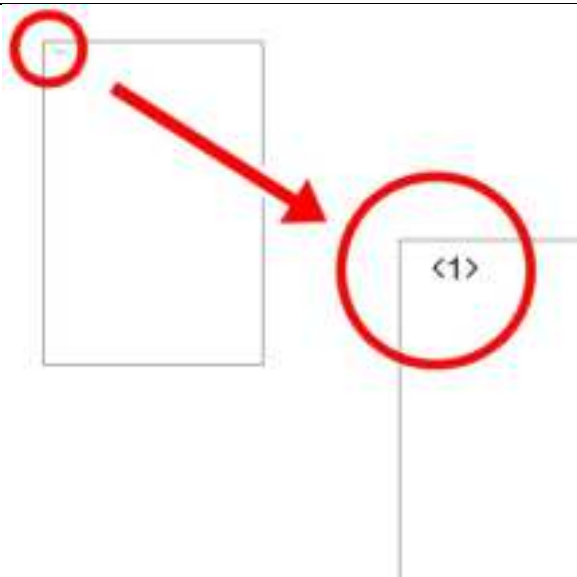
スカート

ウエストベルト

## 01. 型紙を貼り合わせる

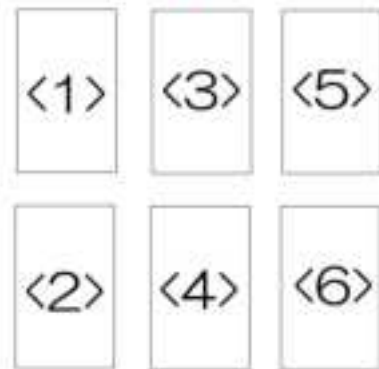
- ① 型紙に割り振られている番号を確認する。

（番号は型紙の左上に記載。  
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。  
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、  
 数字は違います。  
 枚数、貼り合わせ数字については  
 各型紙をご覧ください。

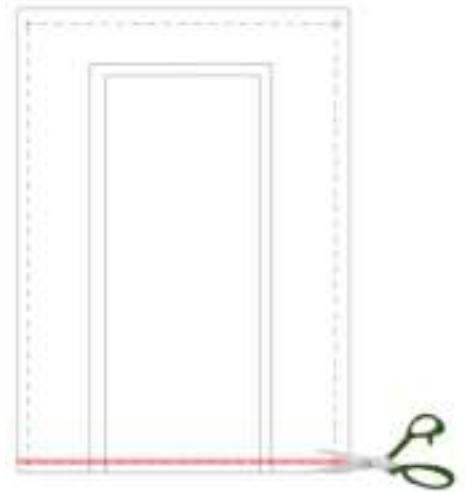


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

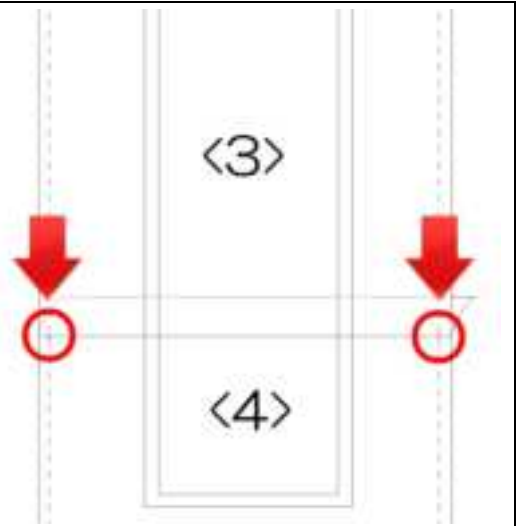
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

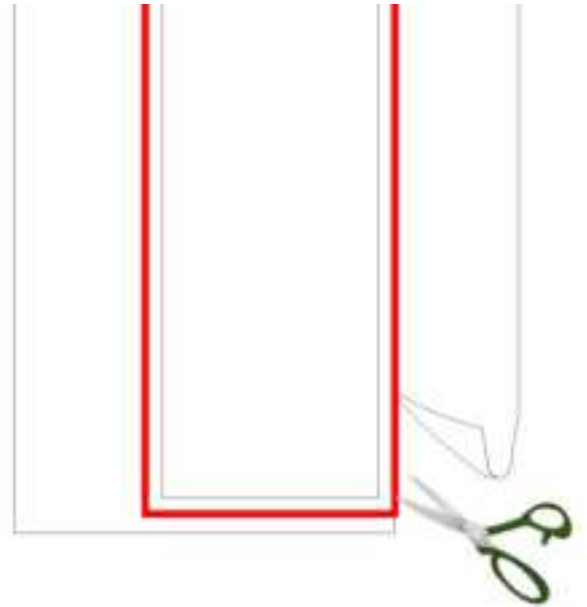


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、  
表裏両方をテープで留める。



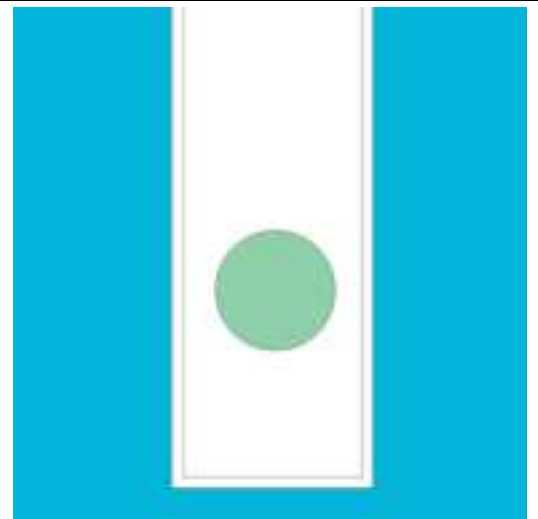
02. 型紙を切り取る。

〔 02~07 の右図は全型紙共通で使用  
しています。〕



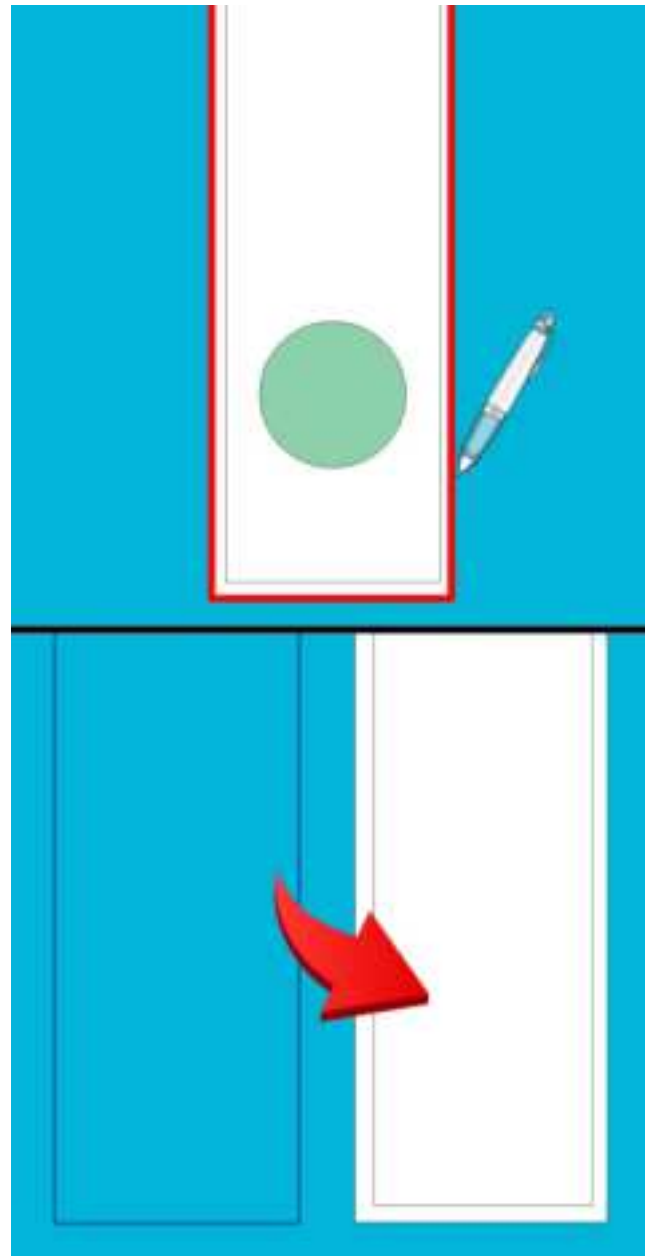
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔 まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動  
かない様にする。〕

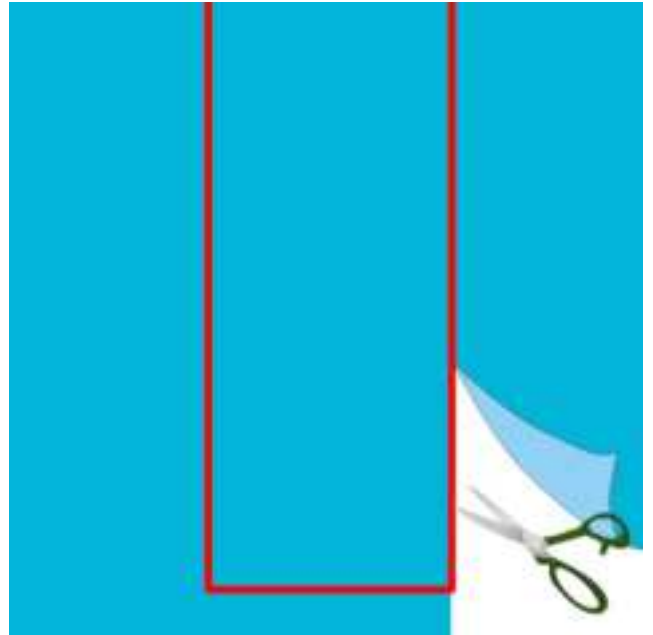


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

- ※オススメのチャコペン
  - ・カリスマシャープペンシル(使用中)
  - ・クロバー 水性チャコペン

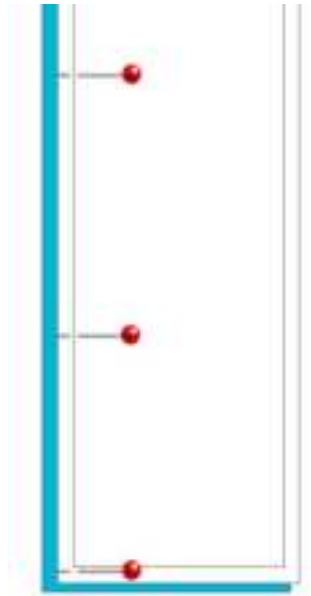


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



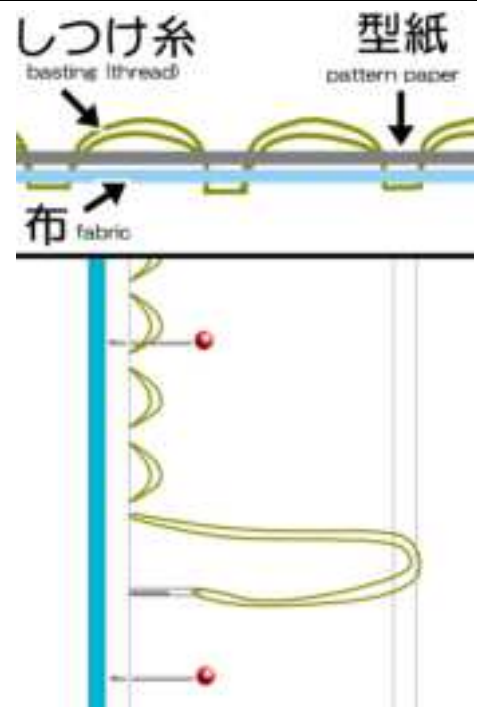
## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕



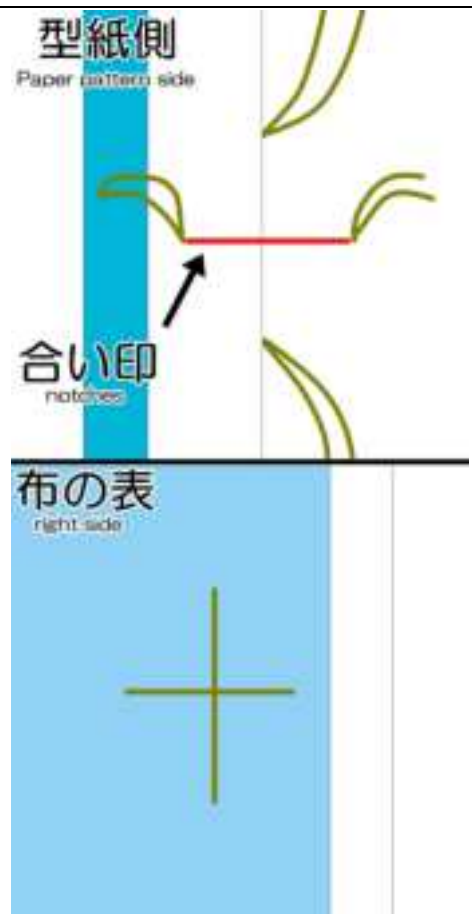
- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。  
A. 型紙から刺す  
B. 布を刺す  
C. 0.3cm 程度すくうように縫う  
D. 型紙を刺す  
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す  
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て  
+ に見えるように針を刺す。





④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。  
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



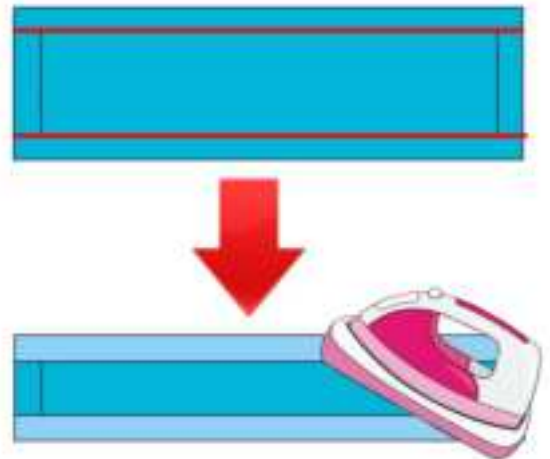
- ⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。




08. ウエストベルトに接着芯を貼る。  
 [ アイロンをスライドさせず、上から押しあてる様にする。

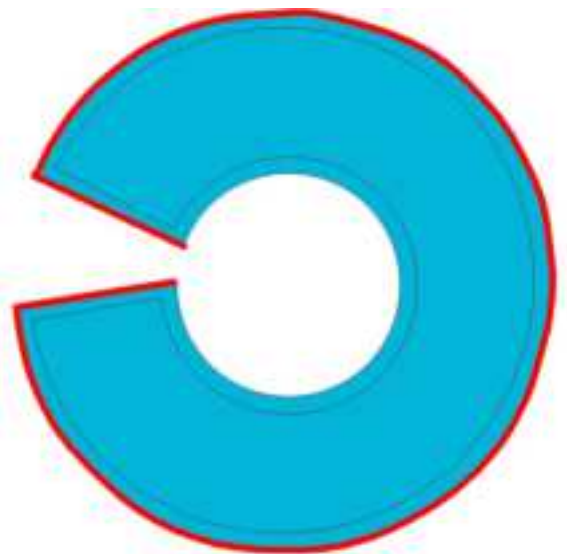


09. 縫い代を折って、アイロンをかける。

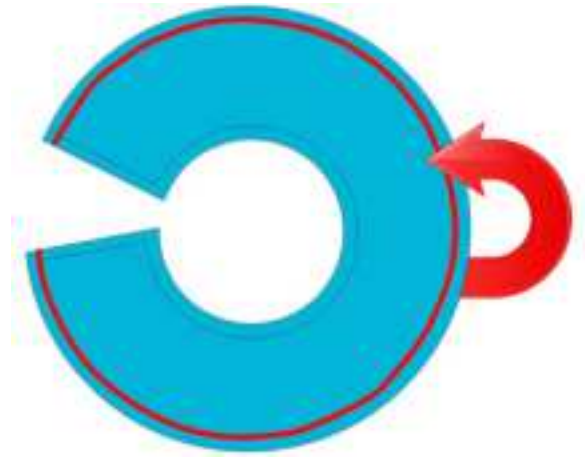


10. スカートの縁に、  
 ロックミシンか家庭用ミシンのシグザグで縫う。

 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。  
 布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。



11. 裾を出来上がり線で折る。



---

12. 縁を縫う。



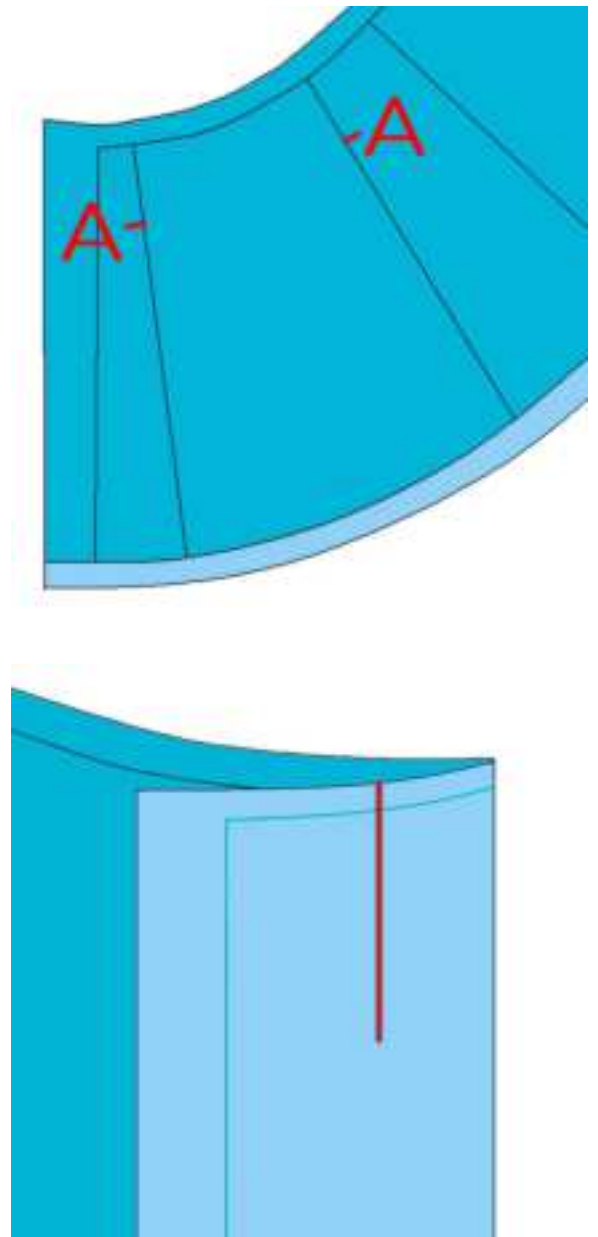
13. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。  
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕

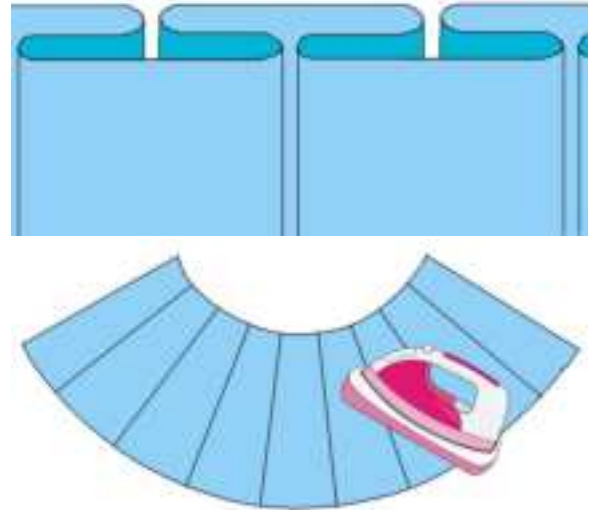


14. プリーツの同じ英字同士を表から合わせて、ウエスト側まで縫う。

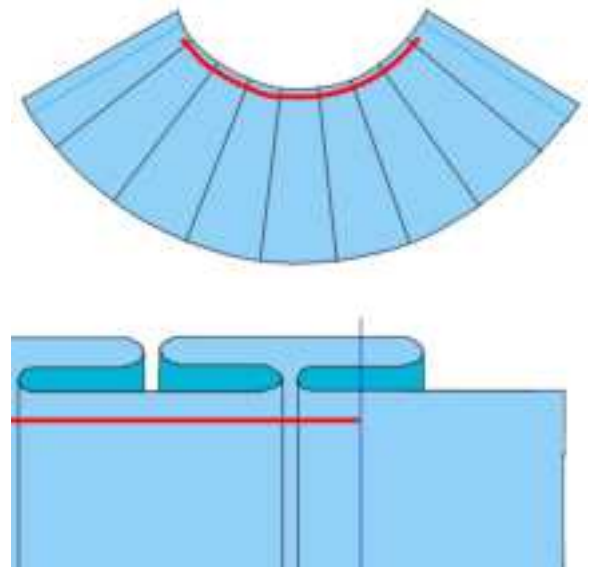
※この工程は飛ばしても OK。



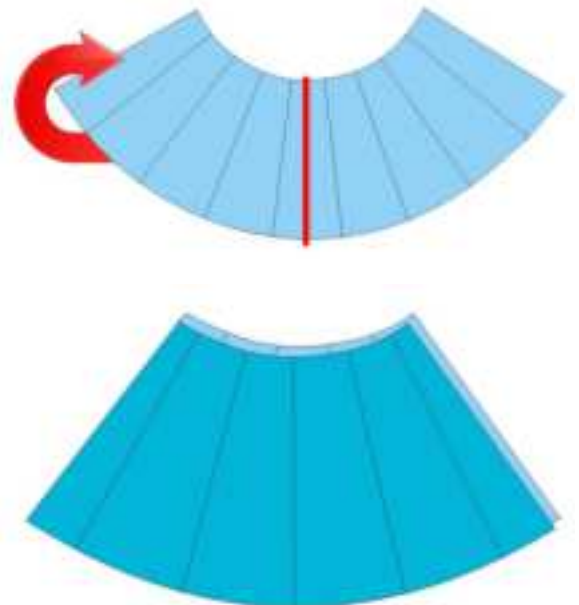
15. プリーツを折ってアイロンを掛ける。



16. スカートの上部を仮縫いする。  
〔端のひだは半分まで仮縫いにする。〕

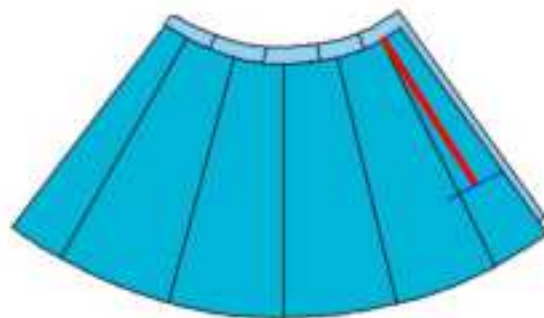


17. 表が内側になる様に、スカートを折る。



18. ウエストから開き止まりまでを  
4mm 程度の縫い目で縫う。

- 〔 仮止めなので返し縫はしない。
- 〔 ひだを縫わない様に、避けて縫う。

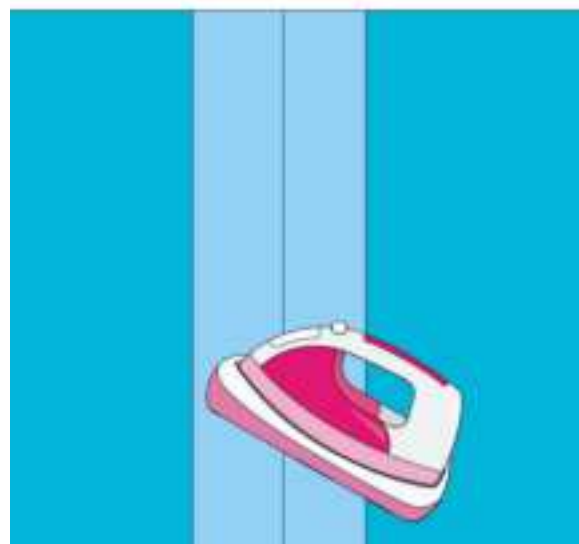


19. 18で縫った下から裾までを普通の縫い目で縫う。

- 〔 ここは解れない様に返し縫いをする。

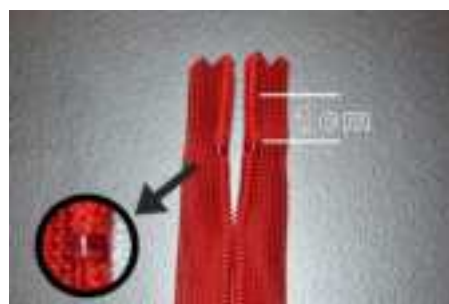


20. 縫い代を左右に開いて、アイロンをかける。

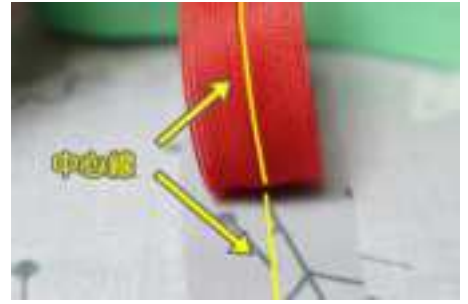


21. コンシールファスナーの上部を1cmになる様に切る。

- 〔 コンシールファスナーの上部に透明の“上止”があるので、その上を1cmに切る。

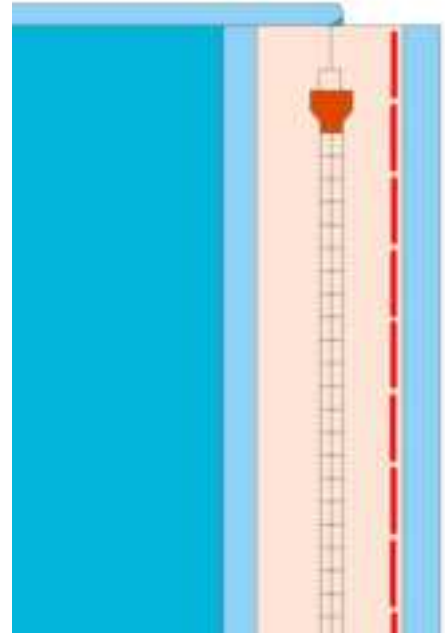


22. コンシールファスナー中心と、18 で開いた縫い目を合わせる。



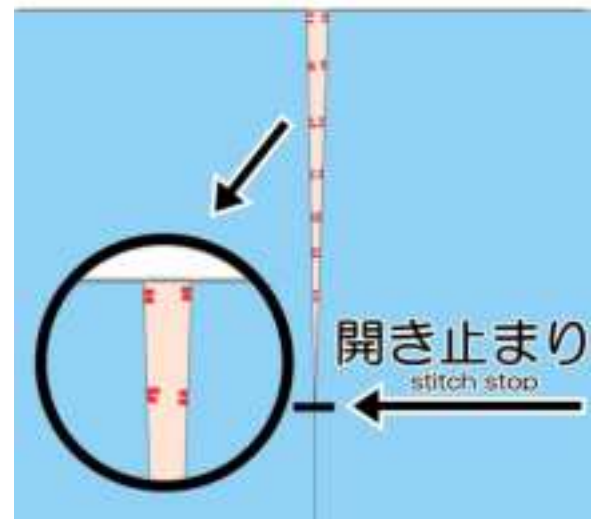
23. 仮止めをする。

- 〔 反対側も同じように縫う。〕
- 〔 スカート本体は避けて、ファスナーと縫い代のみを縫う。〕



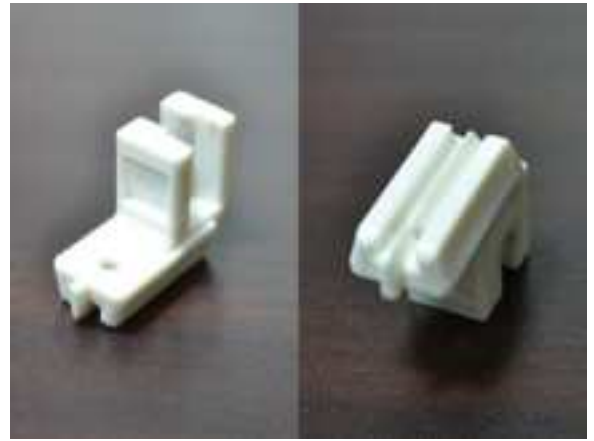
24. ウエストから開き止まりまでの糸を切る。

- 〔 開き止まりから下の糸を切らない様に注意。〕
- 〔 リッパーを使うと切りやすい。〕

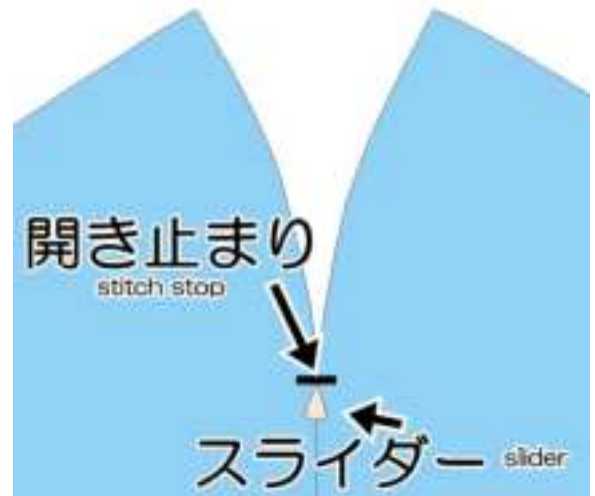


25. ミシンにコンシールファスナー押さえを取り付ける。

右図の様なアタッチメントも売られている。  
おすすめは**ミシンの純正品**、もしくはミシンの  
対応メーカー名が記載された物。  
無記名の場合は場合によっては、ミシンに  
合わない事もあるので注意。



26. スライダーを開き止まりまで下げる。





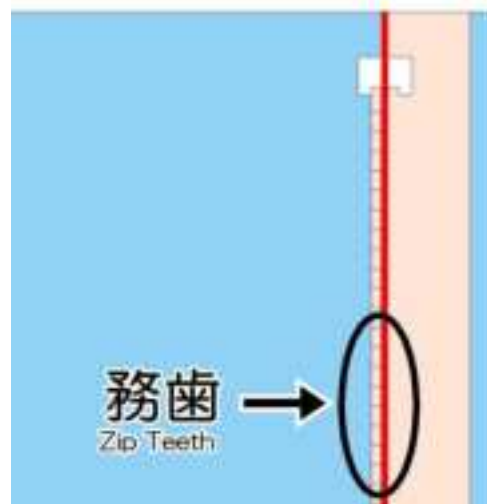
27. 務歯(むし)を押さえの溝に入れて、開き止まりまで縫う。

反対側も同じ様に縫う。

スカート表から縫う。

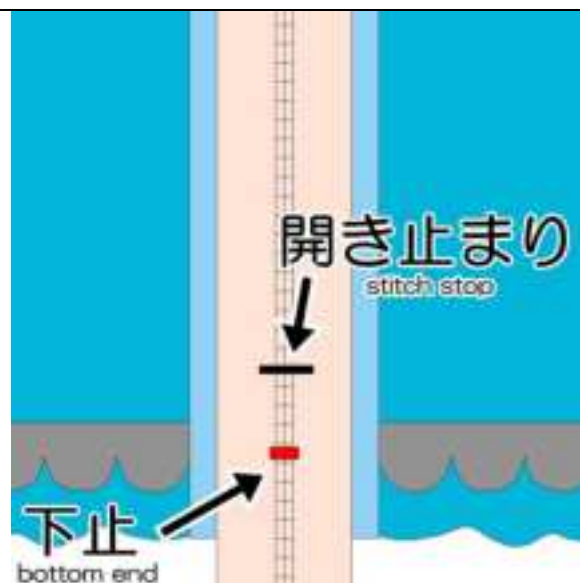
布端が右の時は左側の溝に、布端が左の時は  
右側の溝に務歯を入れる。

務歯：ファスナーを開閉する為に歯の様に  
なって連なっている部分の事。

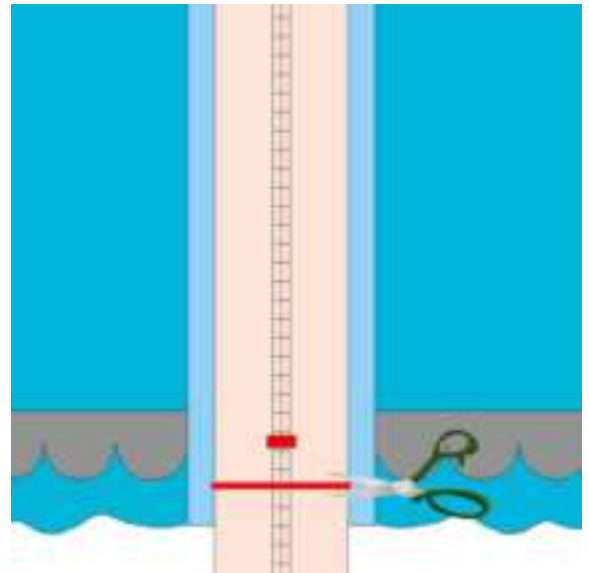


28. コンシールファスナー押さえを、普通の押さえに戻す。

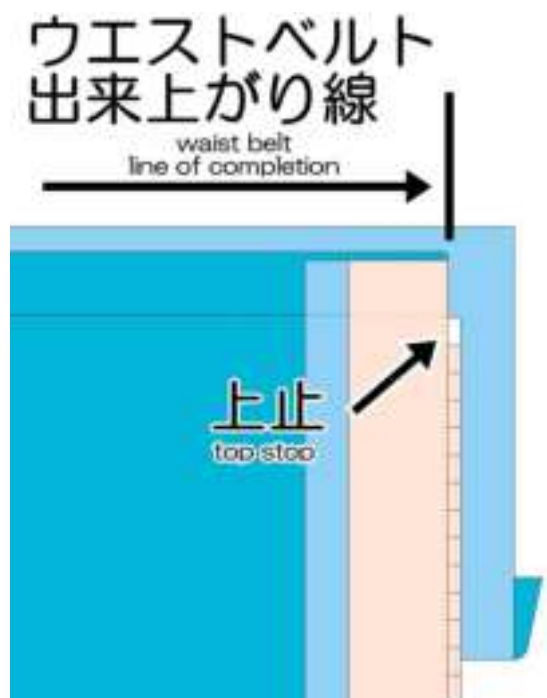
29. 下止の金具を、開き止まりの1cmくらい下に移動して、  
ペンチで潰して動かない様にする。



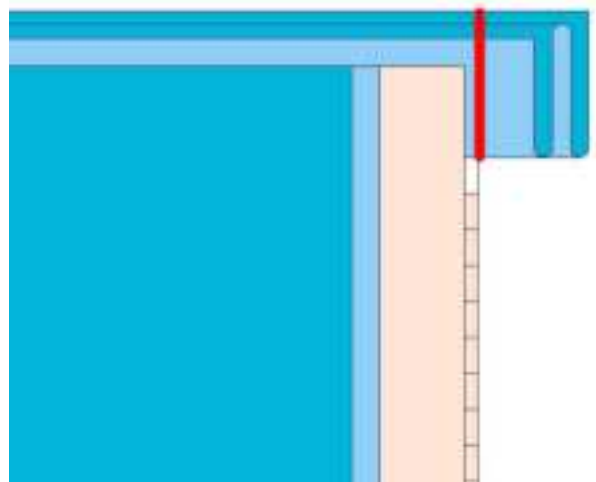
30. 下止の下、1cmくらいをハサミでカットする。



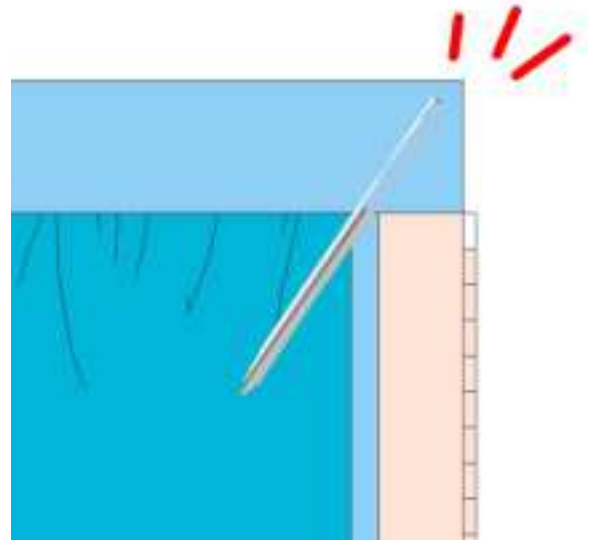
31. 表が内側になる様に、  
ウエストベルトとスカートに合わせて縫う。



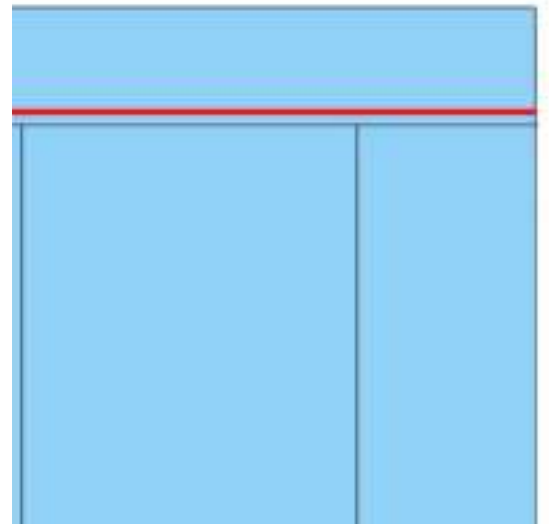
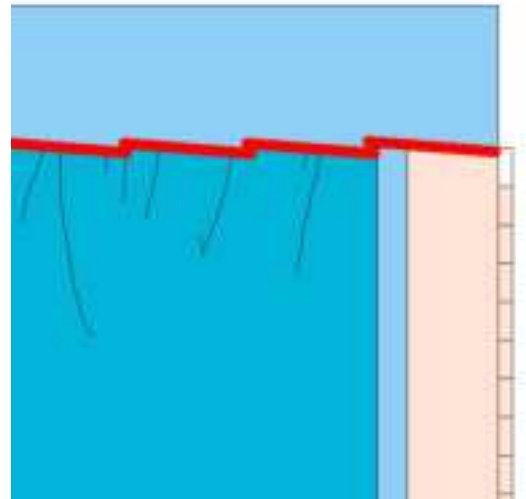
32. ウエストベルトを中心に折って、端を縫う。



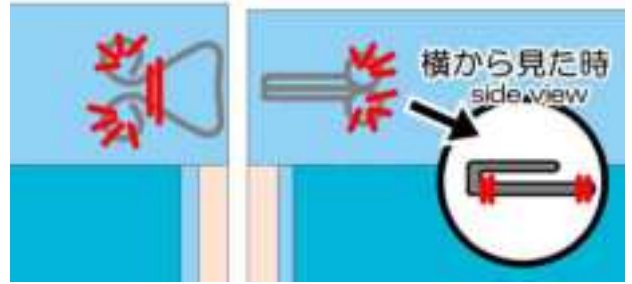
33. 縫ったところをひっくり返し、太い針の  
“糸を通す方”で角を優しく押し出す。



34. ウエストベルトの下部をまつるか、ウエストベルトを縫う。



35. ウエストベルト内側にスプリングホックをつける。



お疲れ様でした！